



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



鹿屋 今年13頭が産卵

今夏、浜田海岸や高須海岸で子ガメを海に帰す「ウミガメ放流会」が行われました。今年、5月21日から7月28日までの間に、ウミガメ13頭が産卵し、約2か月経った現在続々と子ガメがふ化しています。放流会は、お盆の期間中にも行われ、帰省中の子どもたちはめったに見ることのできない子ガメと楽しそうに触れ合っていました。



書道で人権の大切さを伝える

8月7日～30日まで、市役所市民ホールで人権書道作品展示会が行われました。これは、8月の人権同和問題啓発強調月間に伴い、鹿屋女子高の書道部員が「人権」をテーマに作成した書道作品を展示するもの。7日の除幕式では、書道パフォーマンスも行われ、「きっかけのひと言」「愛」「語」という文字を力強く表現しました。



高校生とかのやの未来を考える

8月2日と12日に『「高校生とかのやの未来を考える」元気なかのやづくり会議』が開催されました。会議には市内の6高校から選ばれた14人が参加。「元気なかのや」に関することをテーマごとに自由に発言。高校生らしい貴重な意見やアイデアなどが出されました。今回の内容については、具体的な事業化の検討を行い、今後の市政運営に活用していきます。



鹿屋 厚生労働大臣表彰を受賞

7月31日、「平成25年度介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞した池田志保子さんが市役所を表敬訪問しました。これは、介護老人保健施設関係事業の発展向上に貢献し、老人保健福祉行政の推進に顕著な功績があった人を表彰するもの。池田さんは「今後も認知症対策など、福祉行政に貢献したい」と話してくれました。



150万人を達成

鹿屋航空基地史料館の入館者が8月1日、通算150万人に達し記念セレモニーが行われました。150万人目を記録したのは、市内在住の神野晋吾さん、みゆきさん、匠哉くんのご家族。セレモニーでは、杉本群司令から認定証などの記念品が手渡されました。神野さんは「子どもも操縦席などで遊べるのが魅力。今後も訪れたい」と話してくれました。



看板設置で拉致問題の解決を誓う

8月1日、輝北町市成で拉致問題啓発看板の除幕式が行われました。式には拉致被害者の市川修一さんの兄健一さんと、特定失踪者の園田一さん、敏子さん夫婦の長女前山利恵子さんが出席。市川さんは「一刻も早く救出して欲しい。拉致問題に関心を持ち続け、私たち家族に力を貸して欲しい」と力強く訴えました。



申良 申良川の源流を求めて 秘境を探索

8月19日・20日、高隈山系高峠で、申良地域子ども会の小学1年～中学2年生までの21人が「申良川源流探検」を行いました。これは、地域を流れる申良川の源流を見ることで、自然と水の大切さを再認識しようといわれたもの。申良川の源流を探しに出かけた子どもたちは、秘境のような沢に悪戦苦闘しながらも源流に到着。川の始まりに感動していました。



廃油がキャンドルに！ 楽しく環境問題を学ぶ

8月9日、環境やごみ問題を学んでもらおうと「ごみ減量・リサイクル塾」が開催されました。当日は、市内の小学6年生31人が参加し、鹿屋市資源センターや肝属地区清掃センターなどの施設を見学したほか、廃油を使ったキャンドル作りにも挑戦。子どもたちは盛りだくさんの講座内容に、楽しみながら環境問題への理解を深めていました。



鹿屋の豊かな自然を学ぶ

8月7日、きもつき川水辺館や吾平山上陵などで「自然観察会」が開催されました。これは、肝属川の水質や吾平山上陵の歴史を学んでもらおうと行われたものです。当日は、市内の小・中学生28人が参加し、肝属川に生息する生き物を調べたり、木の葉や花びらを使った絵画クラフトを作成するなどして楽しみました。



鹿屋 夜のばら園を満喫

8月10日・11日の2日間、かのやばら園で「丘の上のピアガーデン」が開催されました。これは、夜のばら園を楽しんでもらおうと行われたもので、2日間で家族連れなど約550人が来園。イルミネーションなどで彩られた園内では、バンド演奏も行われ、夏の夜に華を添えていました。また、ハンドルキーパーの皆さんには、バラの切り花が贈られました。



肝属川クリーン作戦が30年目を迎える

8月4日、肝属川流域で「第30回肝属川クリーン作戦」が開催されました。今年30周年を記念して、「小さな親切運動」鹿屋支部から市にチャイルドシート25台が寄贈されました。クリーン作戦では、周辺の町内会や各種団体など84団体、約1,500人が参加。肝属川沿いに落ちていたごみを拾い、約2.4tのごみを回収しました。



関西ファンデーに出展

8月4日、大阪市の京セラドーム大阪で「第9回関西かごしまファンデー」が開催されました。関西地区の県出身者の親睦を深め、観光や物産の情報を発信する同イベントに約3万1000人が来場。ステージショーや特産品を求める人々で、終日賑わっていました。本市からも特産品販売のため、11社が出展。ブースには大勢の人が行列を作っていました。